

いぬと、ねこと、わたしの防災

「いっしょに逃げてもいいのかな？展」

飼っている人も、そうでない人も、人とペットの防災について考えるきっかけを



災害が起きた時に

大事な家族である「ペット」をどう守りますか？

5世帯に1世帯がペットを飼育している災害大国日本で

ペットの防災をもっと身近に考える

楽しく学ぶきっかけづくりを。

ペットを飼う人も、そうでない人も

「もしも」の時のいのちを考える展覧会です。

人のペットの防災を考える

「LEONIMAL_BO-SAI」

動物福祉活動団体、クリエイター、公益財団法人などとの

取り組みを通して

ペットとの防災をより身近に考える場を創出する

「LEONIMAL_BO-SAI」発足。



live honesty for animal
動物に誠実な飼い主になるう

「いっしょに逃げてもいいのかな？」展／

LEONIMAL_BO-SAI などに関するお問い合わせ

株式会社ドリーム プロイデア事業部 広報担当 相内 美香 (あいうち みか)

TEL : 080-5126-6105(直通携帯) FAX : 052-930-6025

e-mail : press@mydream.co.jp

取組詳細は中面をご覧ください ▶▶▶

いぬと、ねこと、わたしの防災「いっしょに逃げてもいいのかな?展」

飼っている人も、そうでない人も、人とペットの防災について考えるきっかけを

「もしも」のとき、あなたは「いつも」一緒に暮らしているペットを、守ることができますか？

《同行避難》、という言葉があります。非常時に際し、飼っているペットと一緒に避難場所に逃げることを指し、行政としては同行避難を推奨しています。しかしそこには、ペットと飼い主にとってさまざまな問題が横たわっています。

「もしも」を考えると浮かぶ、さまざまな疑問。「キャリーに入ってくれるかな?」「持っていかなければならないものは?」「避難所では、別々に過ごすの?」「ペットのための備蓄やケージはあるの?」「ペットを嫌がる人もいるよね?」——そもそも、本当に、「いっしょに逃げていいのかな?」

本展は、「もしも」の時にペットを守るため、そしてペットと飼い主とまわりの人びととの間でどんな問題が起こるのかリアルに想定し、ふだんからどんなことができるか、来場者とともに考えることを目的に開催。災害時のシミュレーションをイラストレーションで展開し、そこから見えてくる、その時に必要なモノ・コト・キモチを考えます。あわせて、クリエイターによるペットと防災をテーマにしたグッズの提案や、自治体・地域の取り組みなども紹介します。



関連イベントとして、専門家とクリエイターによるトークイベントや、迷子ペットポスター制作ワークショップも開催。いっしょに、生きていく。いっしょに、生き抜こう。動物と暮らしている人も、暮らしていない人も、いっしょに考える展覧会です。

2016年4月23日(土)ー5月22日(日)
9:00-20:00 *会期中無休/入場無料
生活工房ギャラリー
東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 3階
東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅直結
Tel03-5432-1543 <http://www.setagaya-ldc.net/>

主催：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
企画制作：Lucy+K / LEONIMAL_BO-SAI
特別協力：NPO 法人 ANICE
協力：世田谷獣医師会
後援：世田谷区/世田谷区教育委員会

特別企画：クリエイターのみなさんが考える「防災アイテム」

「あったらいいな」をクリエイティブな目線で提案

ペットと一口に言っても、様々な種類があり、個々の性格もさまざま。
防災を考えると、「うちの子なら何が必要だろう」と自分サイズでのアイデアや視点、発想が必要になってきます。

展覧会では特別企画として、様々な分野で活躍されているクリエイターさんにペットとの防災で「あったらいいな」を提案していただきます。クリエイターならではの柔らかい自由な発想で、「わたしならどうする」を楽しく考えるきっかけを創出します。

展示場所：「いっしょに逃げてもいいのかな?展」内 特別企画コーナー

特定非営利活動法人 ANICE× クリエイター トークセッション「もしものために、必要なもの」

こんなアイテムがあったらいいな、を動物との避難・防災の専門家と語りあう

「特定非営利活動法人 ANICE」は名称のもととなった「Animal Navigation In Case of Emergency = 緊急時の動物の道案内」をテーマに、動物といっしょに暮らす人たちのための避難・防災に関する情報と知識を発信し続けています。被災地の実態を熟知し、飼い主だけでなく、ペットを飼っていない人々や様々な立場からの多角的な意見をもとに、「人と動物が共存できる防災や避難の方法」を提唱しています。

法人理事長の平井潤子先生と、ペットと防災についてさまざまな実践とともに研究を続けていらっしゃる平井潤子先生と、本展参加クリエイターが、非常時に必要なものについて考え、語り合います。

開催日時・場所：5月7日（土）14：00～15：30 生活工房 4F ワークショップ A

「まいごポスター・ワークショップ」

ペットを「見つけてもらえる」迷子チラシ制作を通してペットへの愛情を育む

被災地で紙の調達や写真の出力などをするのはとても大変です。あらかじめ迷子ポスターを作っておくことはいざ迷子になったときに慌てることのないだけでなく、そういった心構えが互いの絆をより深くします。

アートディレクション、プロダクトデザイン、作品制作などで今アツい注目を集める「KIGI」の植原亮輔さんを講師としてお迎えし、「見つけてもらえる」迷わたりやすいポスターの作り方を広告のテクニックを交えながら楽しく解説していただきます。

開催日時・場所：5月21日（土）14：00～16：00 生活工房 4F ワークショップ A

ペットの防災アイテム「LEONIMAL リュック型ペットキャリー GRAMP」リリース

同行避難の移動から避難生活まで「いつも」一緒をかなえる多機能キャリー

災害が起きた時に、ペットとの同行避難を難しにする LEONIMAL のリュック型ペットキャリー GRAMP (グランブ) は、災害時の様々なシーンを考慮した多機能性と特殊構造にこだわった、避難キャリーの決定版。大切なペットとの「いつも」の暮らしを、「もしも」の時も守っていききたい。飼い主さんの切なる願いに応えるスペシャル・アイテムです。



「もしも」を「いつも」に
避難から災害まで、
LEONIMAL リュック型ペットキャリー



動物福祉を科学するペット × 災害のスペシャリスト

「NPO 法人アナイス」代表 平井潤子さん監修

同行避難時にはペットを連れて移動することだけでなく、その後少なくとも3日間の避難所での生活を想定しておかなければなりません。このリュックの最大のポイントはケージ内蔵型という点です。背中部分のチャックを広げるとペットのための居住空間が広がります。さらに給水口も搭載されていることから避難所での生活を余儀なくされたときにも、衛生的にストレスを和らげた状態で過ごすことができます。

飼い主が同行避難時にまず考えるのは、周りに迷惑をかけてしまうのではないかとということ。このキャリーはその不安な気持ちを少しでも緩和できるよう、飼い主に必要な備えが専門家の知識と経験に基づいて多機能搭載されています。非常時を想定した設計なので、日常使いでも居心地良く過ごせます。通院や行楽にも使える頼もしいリュックです。



SUPERVISOR
NPO 法人アナイス代表
平井潤子さん

専門家の知識と経験に裏打ちされた こだわりの9つの機能

タフ&ライト

耐久性に優れた PVC 素材採用。
腰ベルトで安定性と飼い主の負担軽減を実現。

ゆったりとしたスペース

中でペットが向きを変えられて
落ち着ける広さ

ケージ拡張機能

居住空間の実現

給水口

バッグ内から水が飲める

ジッパーコード

長めのひもで開閉しやすい

4WAY

手提げ、斜め掛け、
リュック、前抱き

収納力

4つの収納ポケットを内蔵

視認性とデザイン

ペットグッズには珍しい白の中材
すぐに異変に気づける工夫

ユーティリティシート

付属の大判シートが目線隠しに



DESIGNER

小林恭さん

小林マナさん

設計事務所 ima
インテリアデザイン・プロ
ダクトデザインなど広く手

4/20
発売

LEONIMAL リュック型ペットキャリー GRAMP

¥45,000 (+税)

商品サイズ：(折りたたみ時)W41.5×L30×H42 cm

重量：約 3.3 kg

素材：ポリエステル 100%、PVC コーティング

人とペットの防災を考える「LEONIMAL_BO-SAI」

多角的なコラボレーションで、ペットとの防災をより身近に

動物福祉プロジェクト「LEONIMAL」は、人とペットの防災を考える「LEONIMAL_BO-SAI」を立ち上げました。動物福祉に携わる社会活動団体、クリエイター、公益財団法人などとの取り組みを通して、ペットとの防災をより身近に考えていただける場の創出を進めてまいります。

活動予定：

- ・【展示会】いぬと、ねこと、わたしの防災「いっしょに逃げてもいいのかな？展」企画協力
- ・【ワークショップ】「迷子チラシワークショップ」協力
- ・【防災アイテムリリース】「LEONIMAL リュック型ペットキャリー GRAMP」企画

協力先：

- ・ 特定非営利活動法人 ANICE 【監修】
- ・ 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
- ・ 特定非営利活動法人「ゴールゼロ」
- ・ 設計事務所 ima
- ・ Lucy + K



「LEONIMAL_BO-SAI」は、Web 特設サイトを開設します。

展示会やワークショップなどの「リアル」の場と、広く意見交換・情報発信を行う「Web」の場、双方でペットとの防災について考えるきっかけを提供していきます。

また、ペットに関わる全ての人向けに、ペットとの防災ガイドブックを今後企画予定です。「その時」を想定し、自らの防災をカスタマイズするヒントをこめた一冊にしたいと考えています。

LEONIMAL_BO-SAI Web サイト : <http://leonimal.aisocial.jp/bo-sai/>

動物とのおしゃれで快適なライフスタイルを提案する

動物愛護プロジェクト「LEONIMAL (リオニマル)」

株式会社ドリームの社会貢献ブランド「aisocial (アイソシアル)」のプロジェクト「LEONIMAL (リオニマル)」は、おしゃれで快適な動物との暮らしをサポートする寄付付きプロダクトを展開しています。プロダクトの売上の一部は動物保護・啓発に携わる社会活動団体に寄付されます。おしゃれでさりげないデザインの日用品を通じて、人と動物が共存共栄する心豊かな社会の実現に貢献していきます。



live honesty for animal
動物に誠実な飼い主になろう

本プロジェクト・イベントなどに関するお問い合わせ

株式会社ドリーム LEONIMAL 広報担当 相内 美香 (あいうち みか)

TEL : 080-5126-6105(直通携帯) FAX : 052-930-6025

〒461-0023 名古屋市東区徳川町 403 I・C・C クオリアビル

e-mail : press@mydream.co.jp

LEONIMAL_BO-SAI Web サイト : <http://leonimal.aisocial.jp/bo-sai/>



live honesty for animal
動物に誠実な飼い主になろう

「いっしょに逃げてもいいのかな？」展／
LEONIMAL_BO-SAI などに関するお問い合わせ

株式会社ドリーム プロイデア事業部 広報担当 相内 美香 (あいうち みか)

TEL : 080-5126-6105(直通携帯) FAX : 052-930-6025

e-mail : press@mydream.co.jp

◀◀◀ 取組詳細は中面をご覧ください